

# Yame City

## Press Conference



八女市





# Contents

- 01 | **八女カイゼンマルシエ  
開催**
  
- 02 | **八女市議会3月定例会  
新年度予算の重点施策**



01

# 八女カイゼンマルシェ 開催

Yame Kaizen Marche

## 2/17(火)八女カイゼンマルシェを開催しました！

### 1 八女カイゼンマルシェとは

八女市役所でこの1年間取り組んできた「業務改善」の事例をパネルセッション形式で展示・発表するイベントです。「全庁的なマニュアル運用の仕組みづくり」や「庁内横断的な滞納調査方法の再構築」など、どの自治体にとっても何か1つは「気づき」になる、**40事例の展示、発表**を行いました。本イベントは他自治体や民間企業にもお知らせし、**来場者は230人以上**になりました。

### 2 イベントの3つの目的

- **改善担当者たちの努力にスポットを当てる**  
改善担当者一人一人の工夫を可視化、紹介する場を設けることで、彼らが主役として評価される場をつくること
- **改善の種を横展開する**  
1つ1つの改善事例をその部署だけのものにせず、組織内で共有し、組織全体で改善を加速させていくこと
- **学び共有し合うコミュニティを創る**  
自治体の垣根を超えた対話の機会をつくり、DXや業務改善を1人や1つの部署、1つの自治体だけで悩まず「みんなで悩み、解決していく」文化をつくること



他自治体の職員や民間企業の方から多くの励みになる言葉を頂きました！

## 会場写真



## 参加者の感想 (アンケート結果より一部抜粋)

どれも素晴らしい取り組みでした。職員が自ら提案した事、またこのような場で発表できる機会が与えられていることが素晴らしいと思いました。

これからの人口減少社会を見据えて取り組んであって、とても刺激を受けました。ありがとうございました。

部署の枠を超えて、改善に取り組む事例を聞いて、これからの行政の仕事の仕方は、まさにこれだと感じました。



# 02

八女市議会3月定例会

## 新年度予算の重点施策

Key Initiatives

予算規模 **479**億円 ……過去最大  
(対前年度比 40億8,000万円、9.3%の増)

## 歳入 (予算審議資料 P6)

### 市税

70億6,098万2千円(9,394万3千円、1.3%増)  
・個人・法人市民税、固定資産税の増

### 地方交付税

151億9,300万円(10億6,100万円、7.5%増)  
・普通交付税の増

### 国・県支出金

120億6,080万9千円(15億222万2千円、14.2%増)  
・地域脱炭素移行再エネ推進交付金、農業共同利用施設機能強化促進事業費補助金、給食費負担軽減交付金の増

### 寄附金

15億500万1千円(3億円、24.9%増)  
・ふるさと支援寄附金の増

## 歳出 (予算審議資料 P8)

### 普通建設事業費

74億3,630万1千円(21億789万円、39.6%増)  
・再生可能エネルギー利活用事業(脱炭素重点対策加速化事業補助金)の増  
・国補助農業振興事業(農業共同利用施設機能強化促進事業費補助金)の増  
・小中学校整備事業費の増

### 積立金

17億8,324万7千円(3億4,575万2千円、24.1%増)  
・ふるさと支援寄附基金積立金の増

### 補助費等

67億9,559万8千円(5億9,739万円、9.6%増)  
・学校給食特色化事業費補助金、八女市地域公共交通協議会負担金  
八女地区消防組合負担金の増

## 重点施策

- ① 政策形成推進事業(八女市2040年ビジョンの策定)
- ② 庁舎管理業務(上陽地区複合施設建設)
- ③ 特産品等ESGブランディング支援事業
- ④ オンデマンド交通事業
- ⑤ ローカル10000プロジェクト事業
- ⑥ コンビニエンスストア交付事業(コンビニ交付手数料減額)
- ⑦ 八女茶生産振興事業
- ⑧ 小学校屋内運動場空調整備事業
- ⑨ 学びの多様化学校事業
- ⑩ 学校給食特色化事業



# 「豊かさ」の再定義 ～「食」と「職」で未来を描く～

人口が減っていく中でも、私たちはどう心豊かに幸せに暮していけるのか？  
八女の誇りである『食』と『仕事』を軸に、希望を持てる未来を共に創り上げます。

## ①ビジョンがもたらす 3つの効果



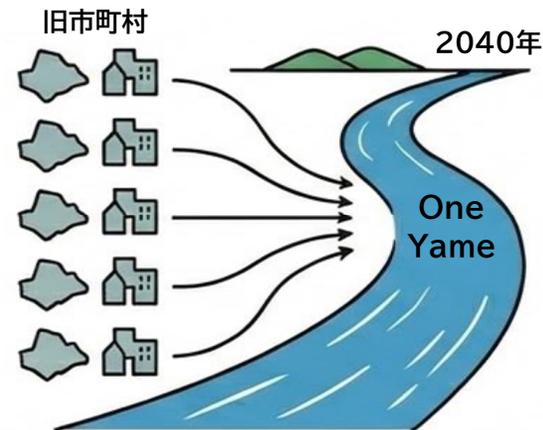
ビジョンの策定は、市政の「羅針盤」、世代を超えた未来への「共通言語」、そして産業の「予見可能性」を確立します。

## ②パラダイムの転換 「抵抗」から「適応」へ



人口減少に抗うのではなく緩和しつつもそれを前提にどう心豊かに暮らせるかという「適応」へ視点を変えます。

## ③流域の視点でつながる 「One Yame」



八女、上陽、黒木、立花、矢部、星野。それぞれのエリアがもつ強みをかけ合わせ、一つの八女市としての共栄を目指します。

## ④市民と歩む 「3つの対話の場」



八女市の未来を思い行動している市民、企業、団体やさまざまな関係者と共に、対話の場を通して目指す未来を描いていきます。

# 八女市2040年ビジョン策定 推進体制

## アイデア出し・まちづくりへの参画

- ・住民、当事者目線の意見出し(課題、アイデア)
- ・実現された事業やコンテンツなどの発信
- ・行政や企業と一緒にサービスの企画・改善などを行うことでまちづくりへ参画する



22,046千円

県補助金1,300千円

ふるさと支援寄付基金繰入金20,000千円

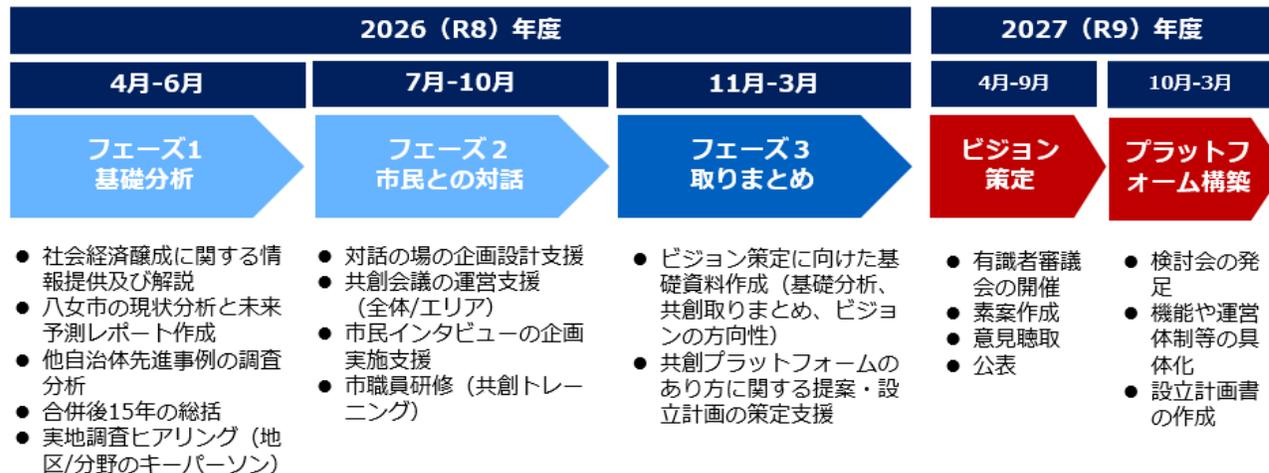
## 政策形成推進事業

### 目的

- 未来の市政運営の「羅針盤」となる「2040年、八女市はどうありたいか」のビジョンを、市民と「共創」する(令和8年度に策定準備、令和9年度にビジョンを策定)
- 職員の政策形成及び実行能力の向上、部署の垣根を越えた連携、さらに市民や外部人材とも柔軟に協働できる体制を構築する

### 概要

#### ▶ 市民共創による八女市2040年ビジョン策定準備



#### ▶ 政策課題解決に向けた取組

- ・職員の政策形成及び実行能力の向上
- ・九州大学産学官民連携セミナー「地域政策デザインスクール」との連携
- ・クラウド型マッチングプラットフォームを活用し外部人材を柔軟に活用できる環境を整備

## 庁舎管理業務(上陽地区複合施設建設)

27,870千円

公共施設整備基金繰入金10,000千円

過疎対策事業債10,500千円

### 目的

上陽支所の建て替えを行い、地域の防災拠点の充実を図り、公民館、図書館及びJA事務所を複合施設として一体で集約し、利用者の利便性の向上を図る

### 概要

#### 事業概要

令和8年度:実施設計

- ・実施設計業務委託
- ・確認申請手数料等

令和9年度～

旧保健センター解体及び複合施設建設工事



## 特産品等ESGブランディング支援事業

3,000千円

ふるさと支援寄附基金繰入金3,000千円

### 目的

市内民間事業者が製造・販売する特産品等にESG(環境・社会・ガバナンス)に関する評価を取得し「エシカル商品」、「サステナブル地場産品」等として特産品のブランディングや販路拡大に活用

### 概要

#### ▶ 事業概要

特産品等ESGブランディング  
支援事業補助金  
補助金額:評価に掛かる経費の1/2  
上限100万円

### スキーム



特産品等のブランディングや販路拡大

283,383 千円

特別交付税 措置率0.8

 **オンデマンド交通事業** (旧事業名:乗合タクシー運行事業)

目的

市内の交通空白地域を解消し、安心して暮らせる地域づくりのため、日常生活に不可欠な移動手段を確保

概要

▶ **事業概要**

既存の運行形態を抜本的に見直し「AIオンデマンド交通」へ移行

● **移動できる範囲の拡大**

八女または黒木中心部へのアクセス性を高めるためエリアを統合し、市全域から市中心部の大型商業施設や総合医療施設へのアクセスを確保

● **待ち時間の短縮と時間選択性の向上**

AIオンデマンドシステム導入により、便運行を廃止して利用者の希望に応じた随時配車が可能となり、予約可能時間も短縮

● **利用可能な時間帯・曜日の拡大**

夕方時間帯、土日も運行を拡大することにより、日常生活のみならずイベントや行事への参加が可能となり、幅広い年齢層の利用を促進

● **新たな予約・決済方法の導入**

WEB・スマホでの予約を可能にするとともに、キャッシュレスやサブスクリプションを導入し、電話予約や都度現金払いに対する負担感を抑制

スキーム

負担金

市

八女市地域公共交通協議会

オンデマンド交通

運営主体:八女市地域公共交通協議会  
運行管理:八女市社会福祉協議会へ委託  
車両運行:市内交通事業者へ委託

幅広い世代の外出機会を創出



# ローカル10000プロジェクト事業

12,536千円

特別交付税措置率1/6  
国補助金8,333千円

## 目的

産学官の連携や、地域の人材・資源・資金を活用し、地域課題の解決につながる新たなビジネスを立ち上げようとする民間事業者の初期投資費用を支援

## 概要

### 事業概要

総務省の「ローカル10000プロジェクト事業」を利用し、民間事業者の初期投資費用を支援

I. 対象事業(①～⑤を全て満たす)

- ①地域資源活用 ②地域課題への対応 ③新規性・モデル性
- ④地域金融機関等による融資 ⑤新たな雇用創出

II. 対象経費 ①施設整備費②機械装置費③備品費④調査研修費など

III. 補助対象事業費(上限2,500万円)の1/2を補助

(国2/3、市1/3※特別交付税措置があるため実質1/6)  
ただし、公費(国・市)による補助額以上の民間融資が必要

## スキーム

補助金交付

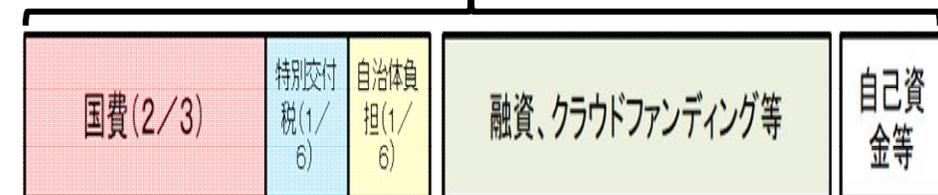
補助金交付



実績報告

実績報告

補助対象事業費



## コンビニエンスストア交付事業(コンビニ交付手数料減額)

### 目的

令和8年度の行政証明書のコンビニ交付手数料を減額し、マイナンバーカードを使ったコンビニ交付サービスの利用促進と定着を図る

### 概要

(令和8年度)

コンビニ交付手数料

**一律10円**

証明書種類	コンビニ交付手数料		参考: 窓口手数料
	令和7年度	令和8年度	
住民票	250円 →	<b>10円</b>	300円
印鑑証明書	250円 →	<b>10円</b>	300円
戸籍証明	400円 →	<b>10円</b>	450円
附票	250円 →	<b>10円</b>	300円
税務証明	250円 →	<b>10円</b>	300円

## 八女茶生産振興事業

# 74,805千円

県補助金 42,941千円  
 ふるさと支援寄附基金繰入金 16,900千円  
 過疎対策事業債 14,100千円

### 目的

八女茶の生産振興をはじめ、八女伝統本玉露を基軸としたブランディング事業や普及・消費・販路拡大などへの取り組みに支援することで、八女茶の産地維持や生産技術の継承及び認知度向上を図る

### 概要

▶ 八女伝統本玉露推進協議会事業推進部負担金【継続】

八女伝統本玉露を基軸とした八女茶ブランディング事業支援

▶ 八女伝統本玉露生産振興事業補助金

(1)手摘経費補助【拡充】 交付単価見直し 75千円/10a→100千円/10a

(2)新植経費補助【継続】

(3)GI伝統技術展示園(全国茶品評会出品園)【継続】

(4)すまき経費補助【継続】

▶ 世界に打って出る八女茶の生産販売強化事業補助金【継続】

生産コスト支援、機械改修支援、碾茶の生産拡大支援

▶ 農業生産振興事業補助金【継続】

JAふくおか八女茶業部会各支部（4支部）への生産振興対策支援

▶ 農産物普及活動支援事業補助金【継続】

八女商工会議所が実施する八女茶ソムリエスクール運営支援

## 小学校屋内運動場空調整備事業

21,928千円

過疎対策事業債 12,600千円

### 目的

熱中症のリスクを回避し、児童の安全確保と健康維持及び運動環境の改善等、快適で安全な環境を提供する。また、災害時の避難所機能強化による地域防災力の向上を図る

### 概要

#### ▶ 事業概要

【空調整備】指定避難所優先

○三河小学校屋内運動場(令和8-9年度)

【移動式空調リース(移動式スポットエアコン)】

○福島小・筑南小学校屋内運動場

福島小:6台 筑南小:3台

(スポットエアコンは令和8年度に福島小、筑南小で実証しその結果でスポットエアコンを導入するか検討する)

スポットエアコンイメージ



<今後の空調整備予定>  
令和9-10年度  
岡山小学校屋内運動場

令和10-11年度  
みさき学園屋内運動場

## 🌈 学びの多様化学校事業(旧忠見小学校)

37,645千円

国補助金 1,792千円

### 目的

- 不登校生徒数は年々増加傾向にあり、生徒一人一人に応じた多様な支援の保障をするため
- 学習指導要領にとらわれない柔軟なカリキュラムを編成できる「学びの多様化学校分教室」を設置し、不登校状態の生徒本人の状況に応じた「学びの場」を保障し、将来の社会的自立や等しく学びの機会を得られることを目的とする

### 概要

#### ▶ 事業概要

需用費(消耗品費等)、施設維持管理委託料、機械、機器使用料(ICT)、備品購入費



※みさき学園  
みさき分教室(仮)

令和9年度見込み生徒数  
7年生:5人、  
8年生:5人、  
9年生:5人、

計15人

### 通常の学校との違い

- 各学年の標準授業時数1,015時間を770時間に削減
- 年間455時間を削減するが、新設の教科として「アドベンチャー」「コミュニケーション」「マイセルフ」を新たに210時間を追加
- 通常の登校時間を避け、周りを気にせず安心して登下校できるように、午前2単位時間、午後2単位時間を基本に設定

278,716千円

国・県補助金277,534千円

## 学校給食特色化事業

### 目的

八女市立小・中・義務教育学校における保護者の経済的負担を軽減するとともに、豊かな食材選びによって給食の質を向上させ、子どもたちの健やかな成長を図る

### 概要

#### 事業概要

○保護者負担2,000円→500円へ

※給食の質の維持および向上分として1,000円を充てるため、市と保護者で500円ずつ負担

	令和7年度 給食費月額	令和8年度 給食費月額	左記月額のうち給食の 質の維持及び向上分
小学校	4,300円※1 保護者2,000円	6,200円※2	1,000円 (市500円+保護者500円)
中学校	5,000円※1 保護者2,000円	7,000円※2	1,000円 (市500円+保護者500円)

※1 給食費月額20%を市から補助し、小学校5,160円、中学校6,000円相当の給食費を提供

※2 令和8年4月から給食費改訂

月額2,000円から500円へ



給食費を大幅に減額し、子育て世帯の負担を軽減します。

給食のクオリティをさらに向上



費用を抑えながらも、これまで以上に質の高い食事を提供します。

令和8年4月より実施



新しい制度と質の向上は、令和8年度の開始時から適用されます。

- 多様な食材を用い質の向上・栄養バランスのとれた給食の提供を目指します
- 食育を推進し、地域の文化や農業について学び、生産者や地元の現状にふれることで、食に対する理解や感謝の気持ち、八女への郷土愛を育みます

# 子どもたちの記憶に残る学校給食日本一！

八女の恵み・ごちそうプロジェクト始動!! ~全ての子どもたちにおいしいの笑顔を~

## 毎日学校に行きたくなる「夢の給食」

八女の食材を最大限に活かした最高に美味しい献立やイベントで子どもたちのワクワクを創出します



## 「八女に生まれてよかった」

～郷土愛の醸成～

お茶や郷土料理に込められた物語や生産者の想いを知り、故郷への誇りを育みます



## 自律を育む「体験型給食」

メニュー考案、野菜栽培などを通じ、子どもたちの自律心と自信を育みます



## 街の絆を支える「食のインフラ」

学校の枠を飛び出し、給食を食べる機会を通じて、多世代での共食など、街全体をひとつの大きな食堂として捉えます



日常の給食の食材を充実させた上で、以下の取り組みを行います。

### 【取組事例】

- 民間企業とのコラボ  
(セブン-イレブンジャパン・おにぎり太郎さんなど)
- 八女茶ペアリング
- 学校給食フェスティバル
- 子どもたちによる八女茶を使ったメニューコンテスト など



八女市